

イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i> L.	絶滅危惧Ⅰ類
		トクサ科
選定理由	生育地が限定されるうえ、生育環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(村長昭義) 
形態の特徴	鮮緑色で日当たりの良い湿地に群生する夏緑性のシダ。直立茎は上半部で枝を輪生し、頂部に孢子囊穂をつける。	
生態的特徴	低地の休耕田、放棄水田、湿地に生育する。	
分布状況	北海道・本州(中部以北)に分布する。岐阜県では県南西部の水田跡に生育地がある。	
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。	
保全対策	湿地の保護、保全や、地元住民による生育環境維持活動。	
特記事項	スギナやトクサに似ているため、地元住民は貴重な植物であるという認識が浅い。今後の詳細な調査の積み重ねにより新たな生育地が発見される可能性もある。	
参考文献		

文責：村瀬正成